

防府市参画及び協働の推進に関する協議会 意見等（第1回～第3回）

1.参画に関する事項

	意見
パブリックコメント	パブリックコメントで、最後に意見を募集すると、意見を出しにくいと思うので、早い段階で意見を募集したらいいのではないか
	過去のパブリックコメントを参考にして、意見を提出される人もいると思うが、古いパブリックコメントはある程度年数がたつとHPから消えてしまう。パブリックコメントのホームページに掲載する期間を見直してほしい
	パブリックコメントをもっとわかりやすい言葉（中学生でもわかる言葉、やさしい日本語）でわかりやすい資料を出した方がいいのではないか
	パブリックコメントで、意見を提出できるものの範囲について、他の自治体では制限をしていない自治体もあり、これは今後の検討事項になるのではないか
	パブリックコメントの概要書をもっと充実させ、わかりやすい概要書にすることは大事なのではないか
審議会	女性委員の参加について、審議会の開催時間の配慮といった環境面や審議会の内容の周知の仕方といった仕組みの工夫、この2つのことを同時に考えないといけないのではないか
	募集の仕方を、女性の方に参加していただきたいということを表現して募集したり、女性団体から委員を推薦してもらうといいのではないか
	女性委員を増やした方がいい審議会にポイントを絞って、できるだけ参加しやすい形を作り上げたらいいのではないか
	審議会の会議録をできるだけ一定期間公開するようにしていただきたい。
	審議会によってはオンライン会議で開催することを前提として行う方法もあるのではないか

2.協働に関する事項

協働全般	「防府市参画及び協働の推進に関する条例〈解説〉」の7ページ『協働の領域イメージ図』に、具体例を掲載したらわかりやすくなるのではないか
協働事業提案制度	協働とは何かを市民にわかりやすく周知することも必要なのではないか
	試しにしてみたい事業をスタート事業として行い、そのまま継続して行いたい事業をステップアップ事業として行う、できるだけ利用される方のことを考えて、発想したらいいのではないか
	テーマによっては事務手続きを簡素化するなど柔軟性を持たせてもいいのではないか
	提案制度を利用しなくても、団体等と行政が一緒になって行う協働の取り組みが進められており、協働という形や考え方、分類の仕方などいろいろとあるので、提案制度も考える余地があるのではないか
	全職員に協働の教育が必要なのではないか
	制度疲労もかなり行き着くところまで来ているので、柔軟な発想で考えていくことが必要なのではないか